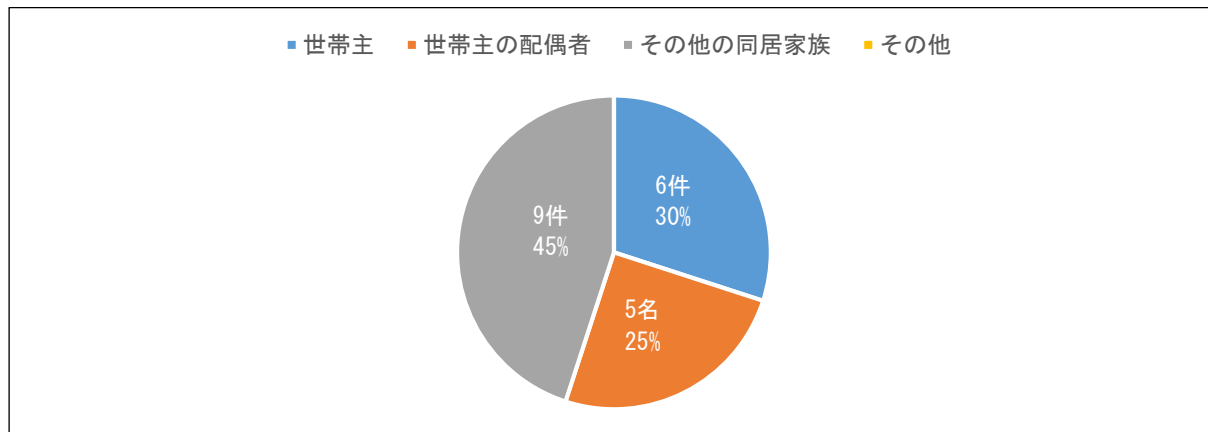


# 第1回市政モニターアンケート集計結果

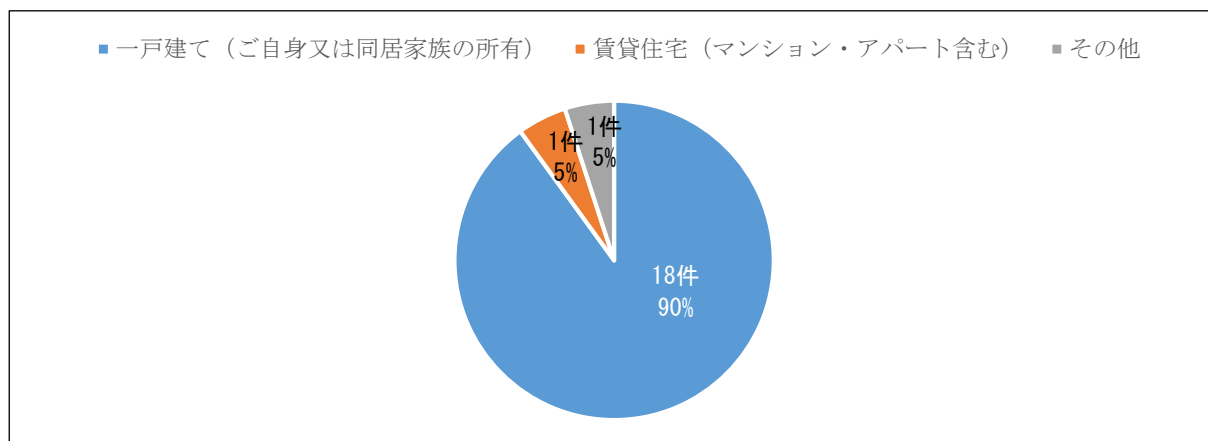
## 【目的】

氷見市では、人口の減少に伴って年々空き家が増えている状況にあるため、空き家について市民の皆様がどのように感じておられるかアンケート調査を行い、今後の取組や施策の参考とする。

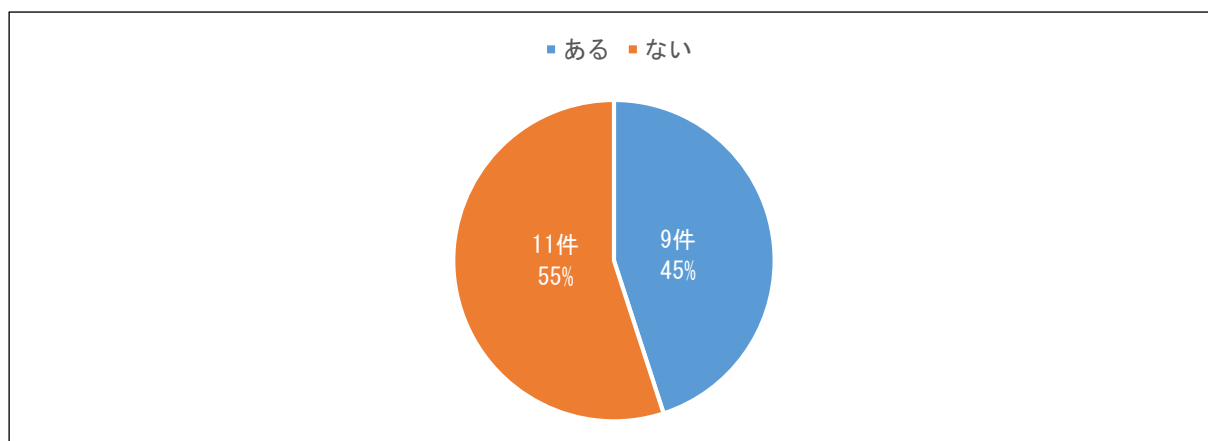
問1 あなたは、世帯の中で次のうちのどれに当たりますか。(単一回答：回答者20名)



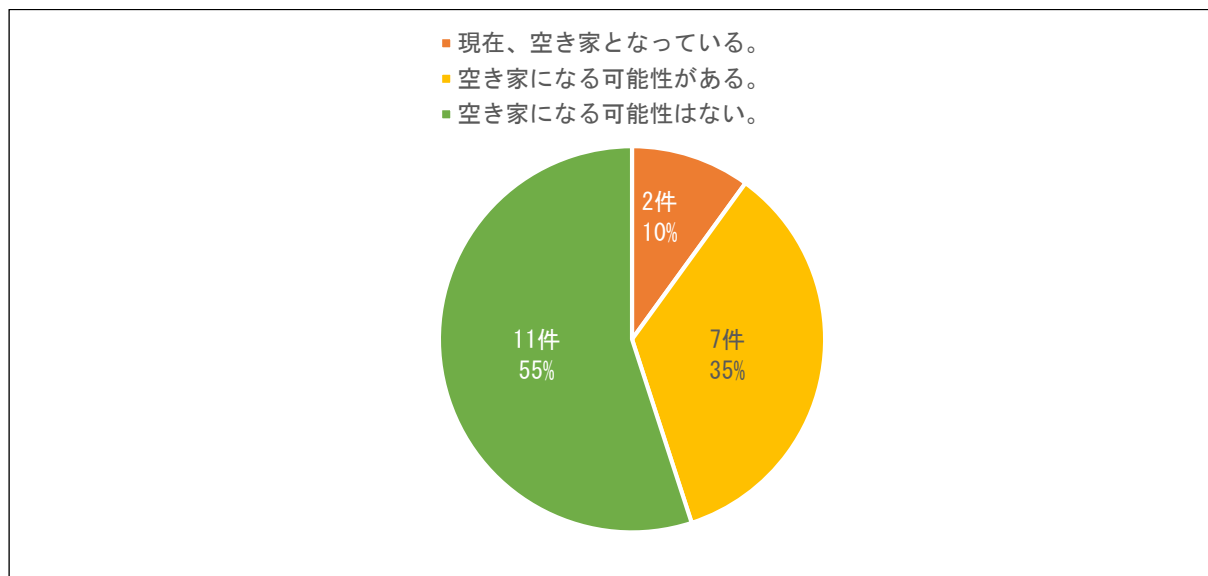
問2 あなたのお住まいは、次のうちのどれにあたりますか。(単一回答：回答者20名)



問3 あなたのお住まい以外に、市内にあなた又はあなたのご家族が所有されている一戸建て住宅はありますか。(単一回答：回答者20名)



問4 「あなたのお住まい」又は「あなたのご家族のお住まい」が現在もしくは、近い将来  
空き家となる可能性はありますか。(単一回答：回答者 20 名)

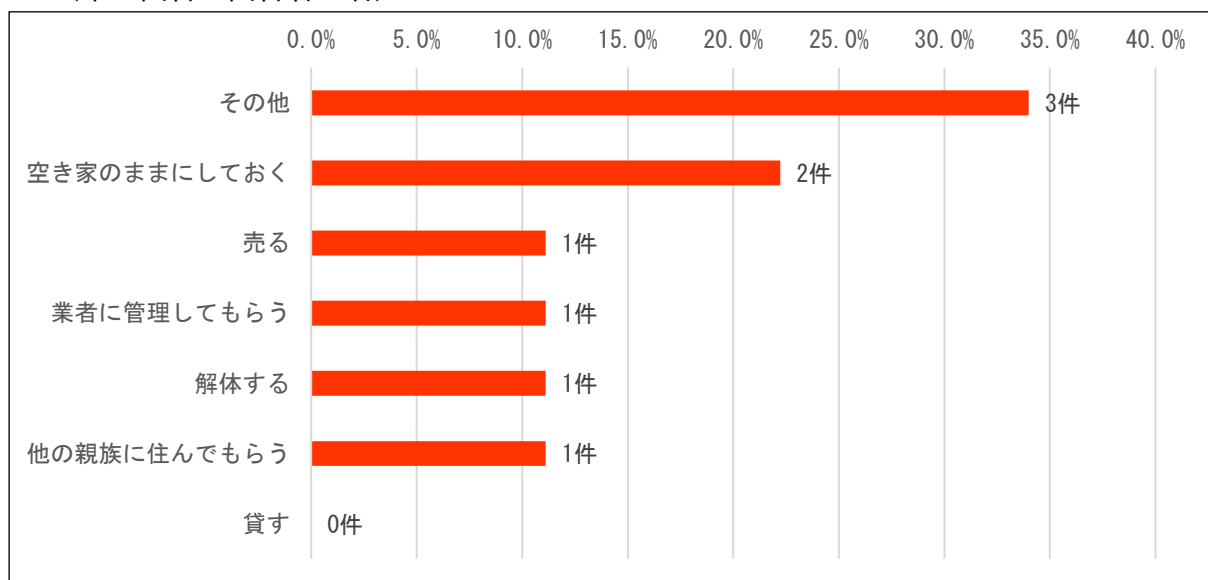


※「現在、空き家となっている。」「空き家になる可能性がある。」を選択した方は問5に進む。(9件)

「空き家になる可能性はない。」を選択した方は問13に進む。(11件)

問5 問3で「現在、空き家となっている。」「空き家になる可能性がある。」とお答えの方にお  
たずねします。あなたは、「空き家になる可能性がある建物」もしくは「空き家となっ  
ている建物」を今後どうされる予定ですか。

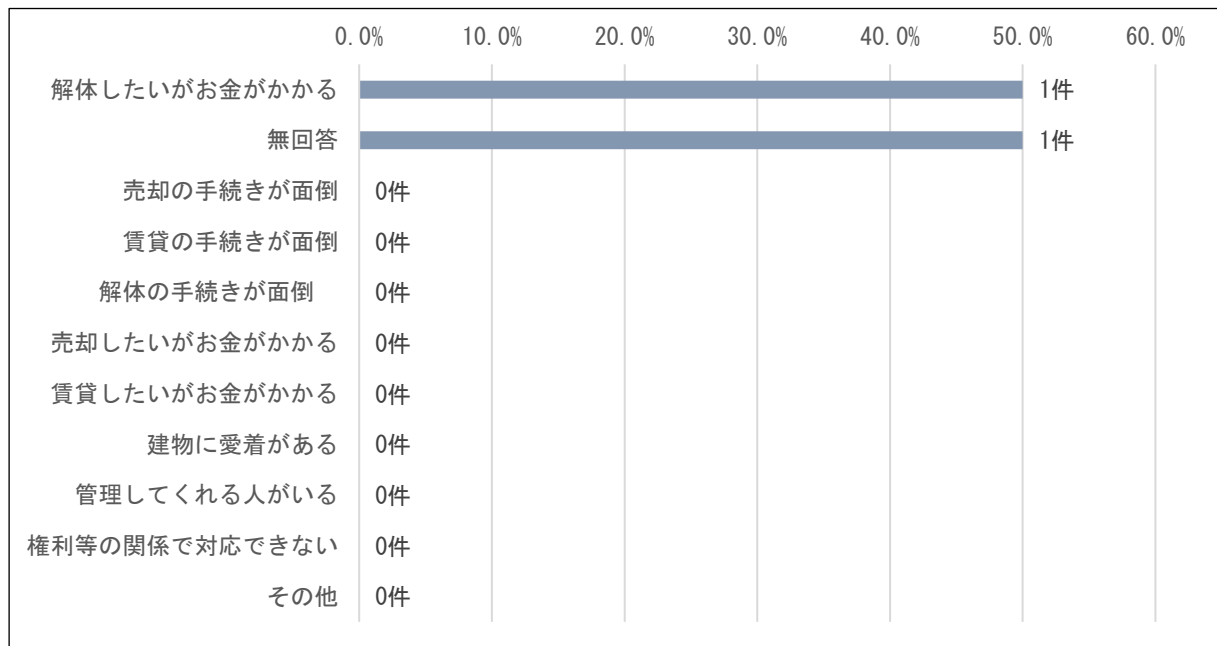
(単一回答：回答者 9 名)



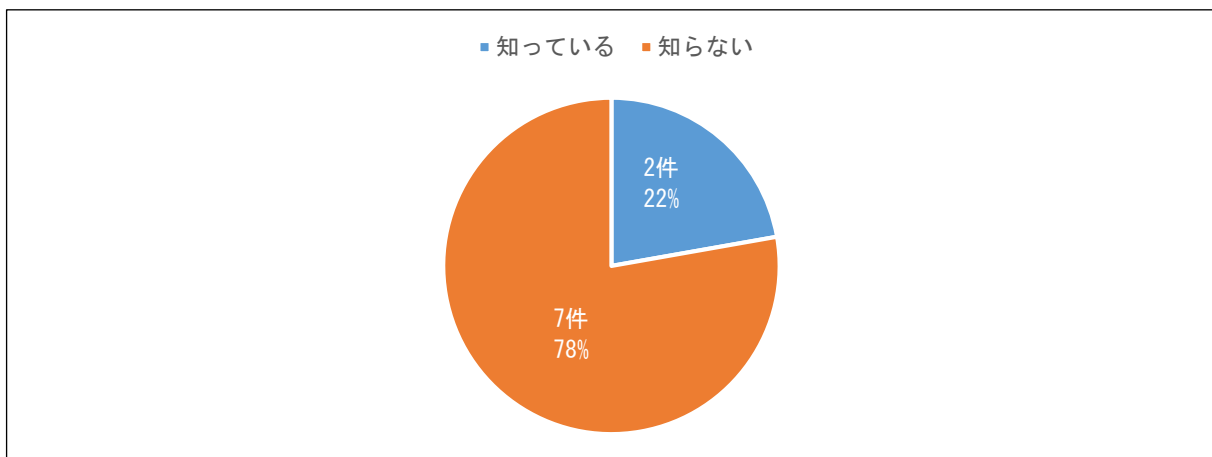
上記「その他」と答えた方の意見 (自由回答)

考えていない。(30代男性)
その時の状況による(40代女性)
まだ決まっていない。(70代女性)

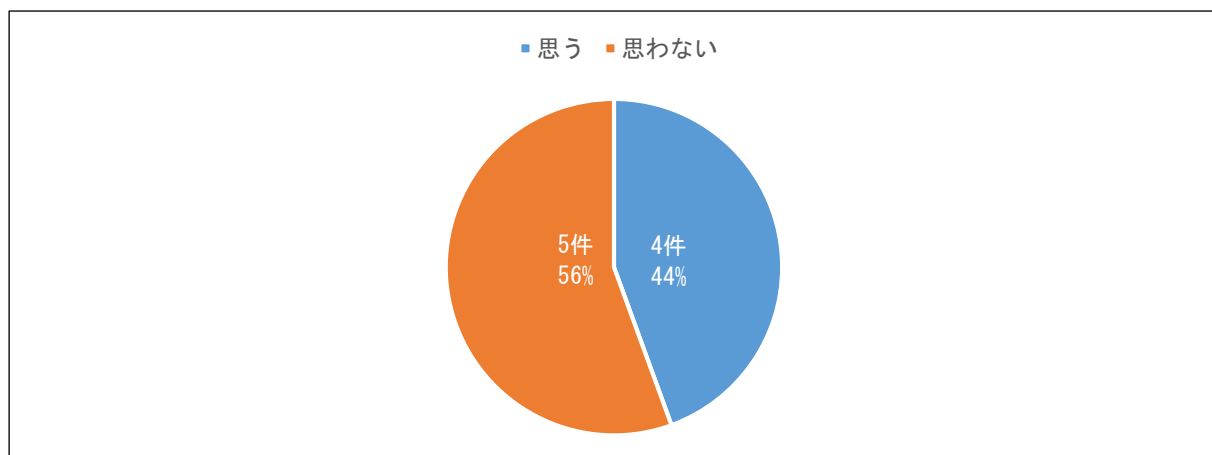
問6 問5で「空き家のままにしておく」とお答えされた方におたずねします。あなたが「空き家のままにしておく」のは、どのような理由があてはまりますか。  
 (複数回答：回答者2名)



問7 氷見市には、空き家を賃貸に活用する際に、リフォーム等に係る経費を補助する「優良物件化補助金」の制度を知っていますか。(単一回答：回答者9名)

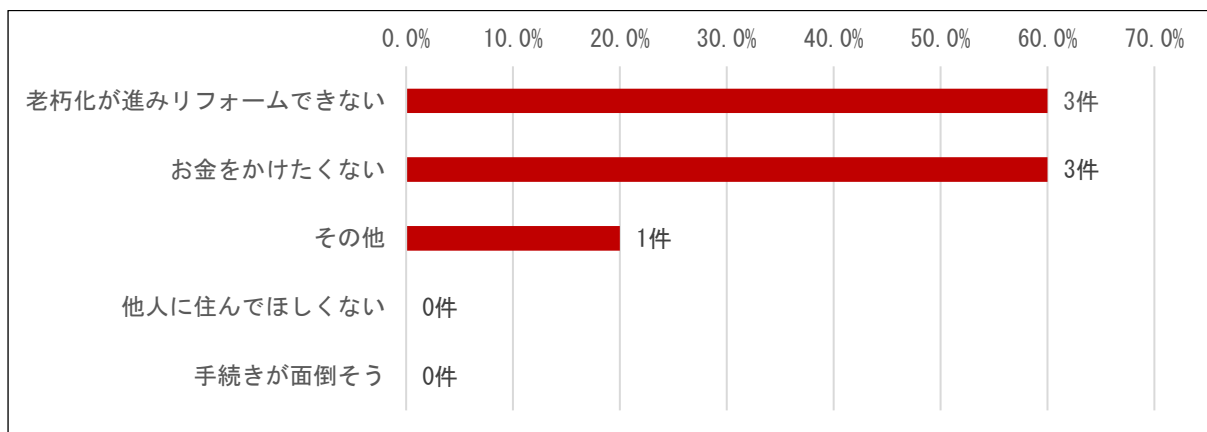


問8 「優良物件化補助金」を活用したいと思いますか。(単一回答：回答者9名)

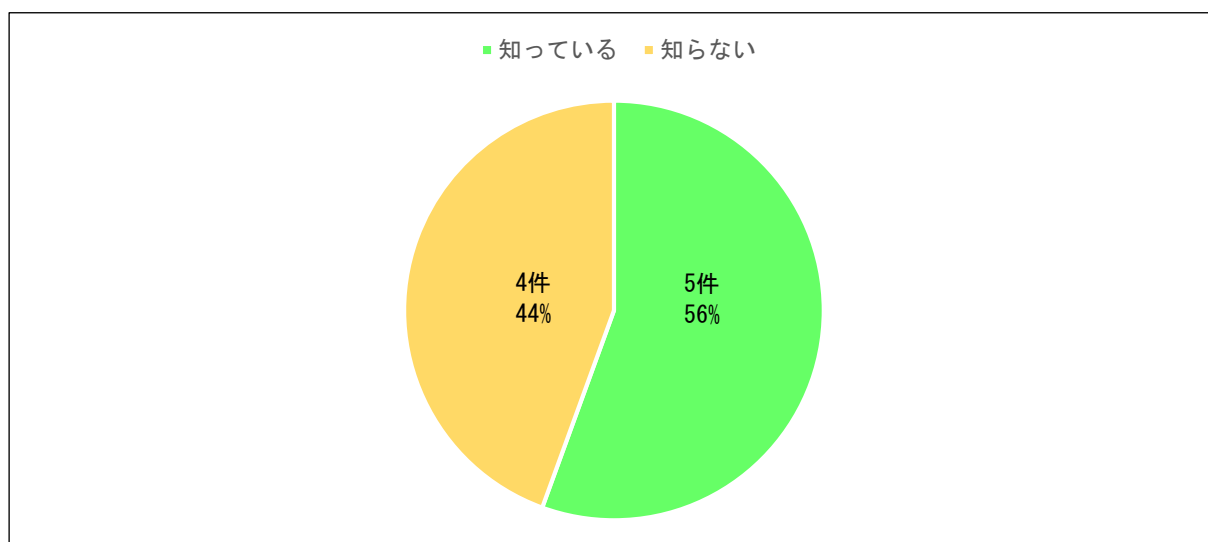


問9 問8で「思わない」とお答えされた方におたずねします。あなたが補助金を活用しようと思わないのは、どの理由があてはまりますか。

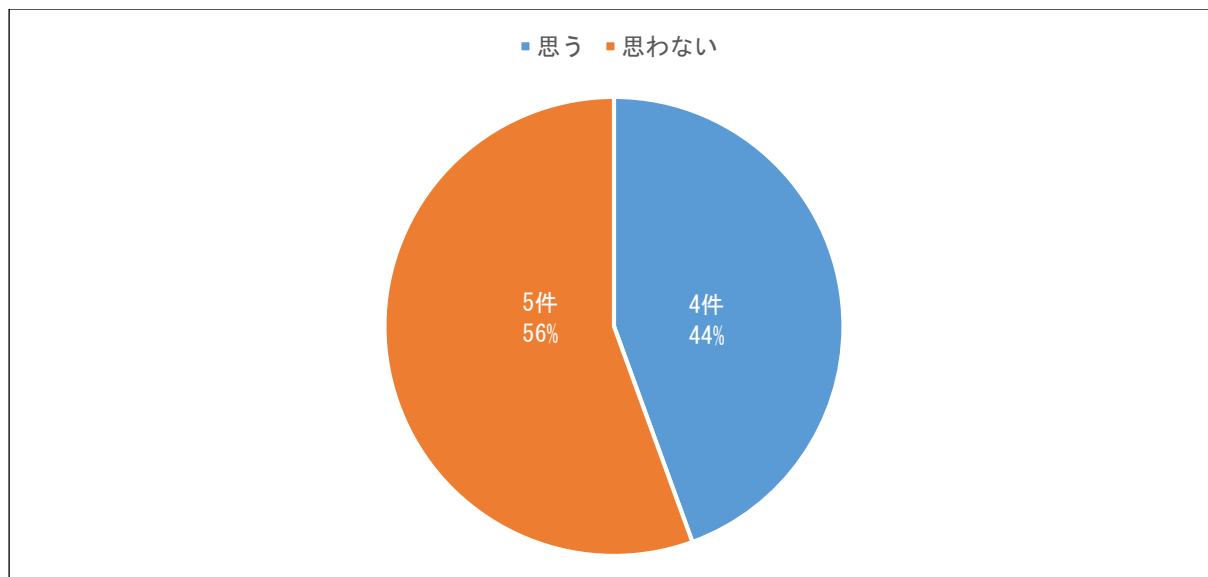
(複数回答：回答者5名)



問10 氷見市には、市外からの転入者に対してインターネット等を通じて賃貸用もしくは売買用の空き家を紹介する「空き家情報バンク」制度があります。この制度を知っていますか。(単一回答：回答者9名)

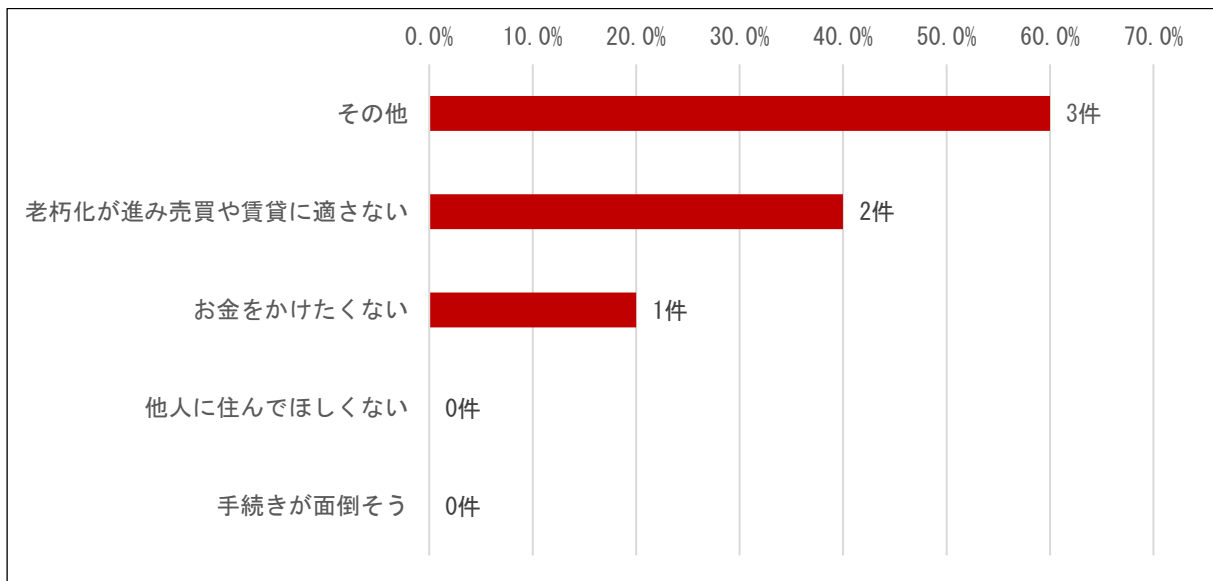


問11 「空き家情報バンク」制度を活用しようと思いますか。(単一回答：回答者9名)



問 1 2 問 1 1 で「思わない」とお答えされた方におたずねします。あなたが「空き家情報バンク」を活用しようと思わないのは、どの理由があてはまりますか。

(複数回答：回答者 5 名)



上記「その他」と答えた方の意見（自由回答）

まだ両親、弟が住んでいる。数十年先の事なので、どうなるかは、まだ考えていない。子供たちが結婚するときにリフォームなどして使用する可能性も…

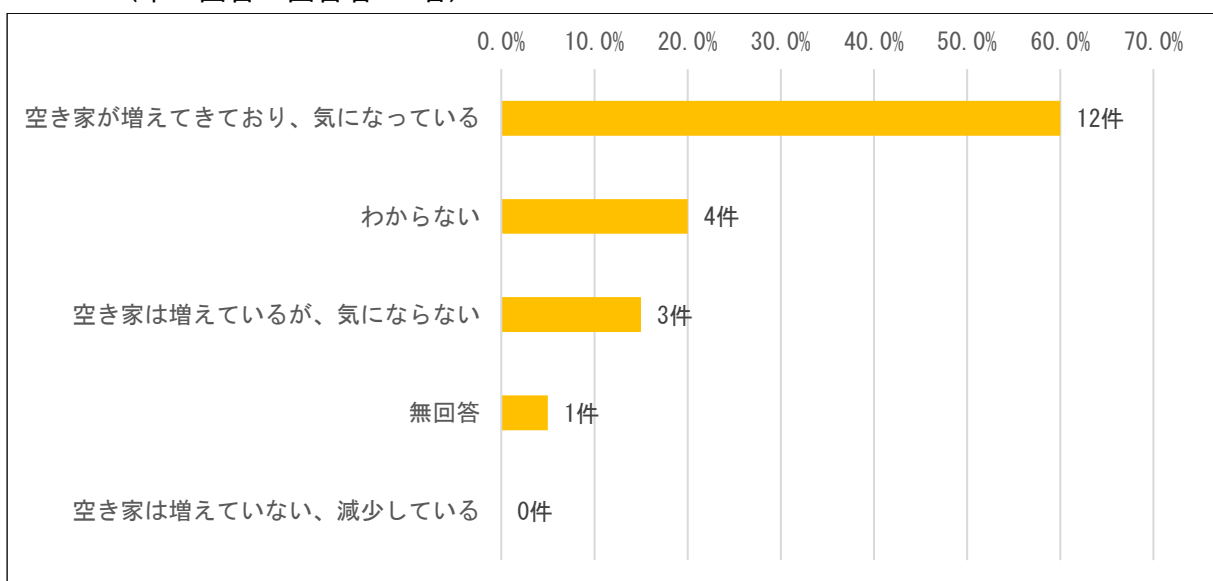
(30代男性)

仕組みや流れをまだ理解していないが、仮に利用したとして、借りていた人が居なくなった時に、またリフォームできるのか？謎が多い。(40代女性)

必要なときに身内で相談する。(70代女性)

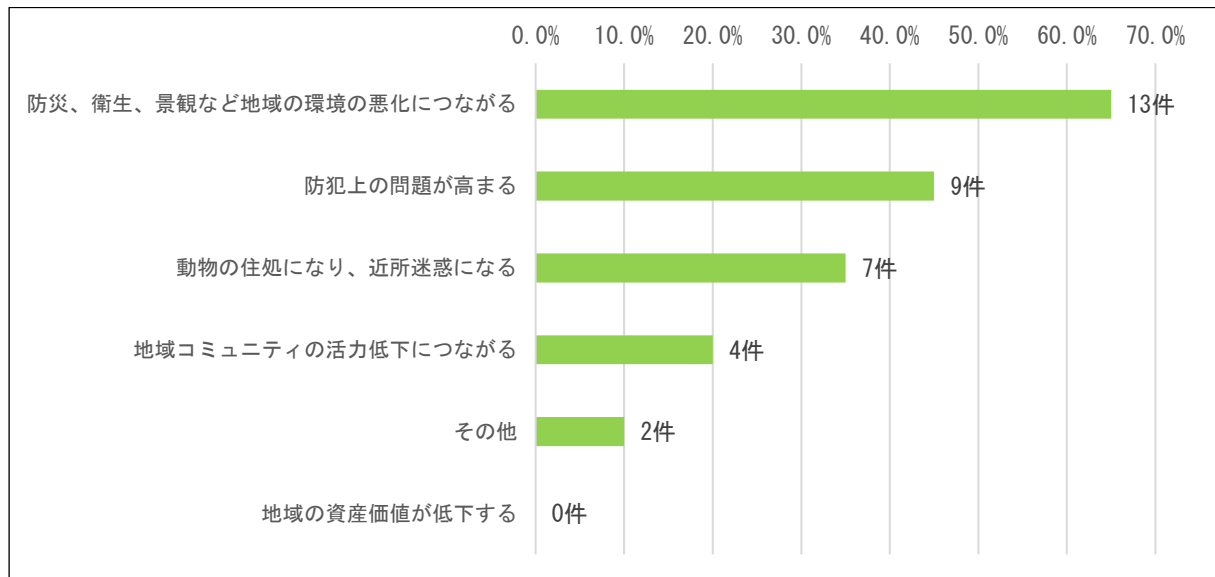
問 1 3 あなたがお住まいの地区の空き家の状況についてどのように感じておられますか。

(単一回答：回答者 20 名)



問 1 4 空き家が増えることで、どのような問題が起こると考えますか。

(単一回答：回答者 20 名)



上記「その他」と答えた方の意見（自由回答）

冬季になると通水していない水道管が凍結、破裂し、地域一帯が断水となる。

(20代男性)

持ち主がいる物件であれば、手離したいけれど方法がわからず、困っている方もおられるかもしれないので、空き家だけに限定するのではなく、税金などのセミナー等を開いて、その中で一つのテーマとしてお話するなど、地域の事として、みんなが考えるキッカケ作りをしていけばと思う。

(20代女性)

あまり考えたことはないが、もったいないと思う。(30代男性)

持ち主がいなければ、血縁関係の人までさかのぼり、家屋を解体してもらうか、やはり空き家バンクに登録してもらいたい。(40代男性)

問 1 5 空き家をこれ以上増やさないために、どのような取り組みを行うことが効果的と考えますか。(自由回答)

転居する際、空き家バンクに登録する、もしくは家の管理はどうするつもりかヒアリング、誰が管理するのかヒアリングする等、確認してもらう。地域のコミュニティが活性化すれば、空き家になることを未然に防ぐことができると思う。具体的には、誰がどこに住んでいるのか町内会長を中心に、しっかり確認し会話を増やす。(20代男性)

空き家を活用する企業、団体の誘致、それに伴う維持管理費の大幅な減免等。

(20代男性)

リフォームなどして住みやすくし、必要な方に貸し出しする。そのまま永住される方には、そのまま家を売る。(20代女性)

空き家を整備・管理して、市外から働きに来ている方(医療従事者や介護関係、工場など夜勤ありの職種等)に安く貸し出すとか、どうでしょうか?(30代男性)

空き家バンク制度の積極的なPR(30代男性)

リフォーム済にして、貸したり、売ったりすれば、需要はあると思う。特に氷見市は子育てに手厚いので、若い夫婦が注目すると思う。(30代男性)

市街地に近い地区の空き家は、リフォームしたものであれば、資金面等の理由で検討したい人もいると思う。私も良い物件がないか検索したりする。山間地域の空き家については、生活のことを考えると不便なので、良い方法が分からない。(30代女性)

2世帯、3世帯同居している家庭に、何か特典があると良い。若い世帯が親と同居していけば、今ある家をリフォームしたり、新しく建て替えたりしていったら、空き家を増やさずに、すむかなと思う。(30代女性)

(2世帯、3世帯)同居家族には年2回ボーナスを与える。同居家族特集のページを広報ひみに載せる。空き家を氷見市で買い取り、売りに出す。(30代女性)

家屋を壊して後始末をする費用は、平均200～300万円と言われているので、なかなか壊すことができないのだと思う。空き家バンクへの登録を望まないのであれば、壊す費用の助成をしていただきたい。(40代男性)

新型コロナウイルスの影響で、田舎暮らしが見直されています。氷見市は里山、海、自然環境に恵まれ、家庭菜園、キャンプができることを組み合わせ、何か付加価値を高めることが出来ればと思います。(空き家リフォーム移住者に、自然農法のレクチャー、釣り体験等の講習が付いてくる等)(40代男性)

1人暮らしの家の人が高齢になるまで、放っておかず、しっかり対応できる年齢(60～70代)ぐらいに「この家をどうする予定ですか?」と聞いておいて、「市に渡す」「息子が住む」等を決めておき、その時が来たら、その通りに実行するが良いと思います。亡くなってから息子さんに連絡するのはではなく、息子さんの方にも「どうされる予定ですか」と早く確認しておく。

市役所で、後期高齢者の手続きに来る時に「家はどうされる予定か。」、この時に意思表示してもらえばいいなと思います。(40代女性)

増やさないのは難しいかもしれません。高齢化社会の中で一人暮らしの方が増えている現状、そのお年寄りの方達の住んでいる家を空き家にしない為には、今、一人暮らしの方達にどうしたいのか?(家を)聞いてみたらと思うのですが…。大変な事だと思います。それは、地域の方の協力が必要だと思います。(40代女性)

次世代が住みたいと思うような環境づくり、空き家情報バンクの周知、相談窓口の開設。(50代女性)

私たちの住んでいる地域は、居・食・住にとっても豊かで、過ごしやすいと思っています。自給自足に近い生活も可能であり、災害も少ないと思っています。テレビなどで他県の方々が台風や雨などのときに、死に至るようなことが、度々あるのを見て、心が痛みます。全国に、氷見へ移住をお勧めして、この豊かな氷見に人口が増えれば良いと思います。(60代女性)

税の減免、6%課税を無くする。解体費用の減額 市場自由競争原理のことを考えると公的な立場はそれほど 前面には出れないが、半公民的団体 NPO などがある条件にある空き家を解体することも一案。(70代男性)

若い世代が地元を好きになるような場所にしなければと思いますが、今は小学校もなく、人が集まる機会が少ない。親がリフォームし、住みやすいようにしても他の地区に行ってしまう若者たち。スーパーがない、公園がない等、理由はあるでしょうが、自分たちで住み良い地区にしようとする人が、一人でも二人でもいれば、少しは光が見えるでしょうが、高齢者ばかりの世帯が増えているので、なかなか難しいと思います。(70代女性)

問 16 空き家への対策に関して、氷見市に対して望むことを、ご自由にお書きください。

(自由回答)

空き家情報を拝見したことがあるが、わかりづらかったので、もう少し若者にもわかりやすく、最新情報をホームページに掲載してほしい。空き家は古い物件が多いので、リフォーム、建て直しの費用を一部補助してくれるような制度があればいいと思う。(20代男性)
空き家で「住むこと」「事業を行なうこと」「別荘として」等、魅力的なモデルケースを考え PR してほしい。(20代男性)
私の地区では所有者のいる空き家が何軒かあります。県外在住の方です。よくふるさと納税のお返しに墓掃除等をやっているところを見ましたが、ふるさと納税で空き家の見回り等をできるサービスなどがあると良いと思います。(コロナでなかなか帰ってこれないので)←もう、やられていたらすいません。(20代女性)
取り壊すため、補助金を出してほしい。(30代男性)
若い世代に空き家利用はカッコイイ！とコマーシャルするしかないと思います。スマートな暮らしをしている空き家、利用者さんの紹介等(30代男性)
リフォーム業者—不動産—氷見市が一体となり、(経済や人口増加が)循環するとういなど思う。(30代男性)
老朽化が進んだ空き家を解体する時に助成金があると良い。(30代女性)
空き家＝継ぐ人がいない。これを無くすために、同居又は継ぐことの大事さ、良さを伝える。メッセージをもっと PR したい。PR 力が足りない。(30代女性)
空き家対策の取り組みを、広報ひみにも定期的に掲載をお願いします。氷見出身者で都市部在住の方は市ホームページを回覧しているそうです。都市部で定年を迎えた夫婦は氷見市に移住するニーズはあると思います。(40代男性)
「空き家にしておくと、どうなるか」マイナスな事を市民がちゃんと知っていなければ、何も変わらないと思います。広報ひみに、この案内を入れて、もっと市民の目に触れるようにする。若い子は見ないので、ホームページや Twitter など呼びかけるのは、どうでしょうか。(40代女性)
全国へ氷見市の良さを PR して、住み良さ、生活の充実を体験してもらい、移住者が氷見人になってくれれば幸いです。(60代女性)
私もこの夏、4冊の空き家空き地問題対策の本を読み、全国的な、かつ複雑な問題をはらんでいることを知る。氷見市といえど、国内の一市であり、少ない財政上、対策にも限界がある。国の抜本的施策が望まれる。また可能なら空き家の現場を見ていただき、field からの評価をし、空き家をどうするのか適切なアドバイスを所有者に送るのも考えである。空き地についてもしかり。(70代男性)
詳しい情報を知りたい。例えば市の広報と一緒に、別紙として(空き家対策に関して)情報提供してほしい。今回のアンケートで知らないことが沢山あった。(70代男性)
空き家になるのは、家が老朽化して別の場所に新築する人がほとんどだと思います。その空き家がいつまでもそのままになっていて、壊す気配もない。新築にお金がかかるのはもちろんで、壊すにも費用がかかるからなのか？何年もそのままにしても、自分の土地だから楽なのか？私の近くにも何軒かあります。風が吹いたりすると、何でも飛んできて危ない事もあります。優良物件化補助金等、とてもナイスだと思いますが、老朽化して空き家にしなければならぬ時(更地にする等)にも、何か補助制度があれば良いなと思いますが、あるのでしょうか？(70代女性)

アンケート集計結果は以上となります。